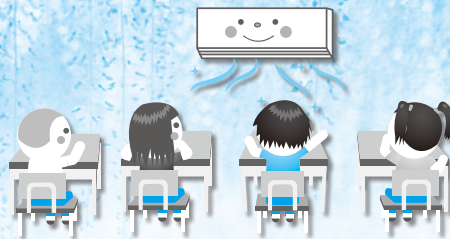


# 設置決まる！



**問** テレビ埼玉データ放送サービス事業の具体的な事業内容と事業効果は。

**答** 本事業はテレビ埼玉と連携して、平時は市のイベント情報などを提供し、災害時などの有事の際には、災害情報や道路通行止めの情報、断水給水情報、不審者情報などを提供するものである。誰でも閲覧できるが、特に高齢者やパソコンなどに不慣れな方などを対象にサービスを提供するものである。

**問** 大山・菫菺地域活性化推進事業の具体的な内容は。また、慶應義塾大学SFC研究所との契約内容はどのようなものなのか。

**答** 慶應義塾大学SFC研究所との契約は、単年度である。この事業は、総合振興計画にもとづき5年間実施していく。30年度は、白岡元気プロジェクト、地域活性化シンポジウム、人材育成ワークショップ、地域ガール体験事業、大山地域交流促進事業、菫菺地域買物支えあい実証実験事業の6事業の実施を予定している。



消防分団

**問** 消防団員数の充足率が約90%とのことだが、活動への影響はないのか。

**答** 火災出動においては仕事などの影響により、全団員が一度に出動するというのではなく、各分団6名程度が出動しているため、影響はないと考えている。

**問** 市有財産維持管理事業で市有地の未利用地の売却や貸付の検討はしているか。

**答** 除草などの管理をしているが、使用が見込まれない土地については、売却や貸付を検討していきたい。

**問** 「のりあい交通」の運行内容を変更することによって、費用対効果の観点から今年度の収支率と今後の見込みはどうか。

**答** 29年度では、現在のところ、収支率は19.9%である。昼休みの運行により利用者の増加が見込まれることから、収支率も上がると考えている。

**問** 地域活動キックオフ事業は、どのような内容なのか。

**答** アクティブシニアや女性を対象として地域人材の発掘・育成を目的として実施するものである。新年度の具体的な内容は、決定していないが、29年度では、4回の講座を開催した。外部講師を招き、地域活動を始めるに当たっての心構えを講演してもらうとともに、参加者相互で地域課題を解決するための地域活動を考えた。参加者が少ない結果となったため、効果的な周知を図りたい。

**問** ごみゼロ・クリーン運動事業は、前年度予算額と比較して2割程度減額となっているが事業縮減なのか。

**答** 回収用のごみ袋について、ごみの種別などを印字したものから、無地の安価なものに変更するため、消耗品が減額となった。

**問** 生活困窮者が転居などする際に入居を断られたり、保証人がいない場合の対応は。

**答** 住宅ソーシャルワーカー事業を活用し、保証契約を締結するなど、入居可能な物件探しの支援をしている。

**問** 保育所管理事業について、西保育所が老朽化しているが、更新についての考えは。

**答** 更新については、現段階では考えていないが、今後、子ども・子育て支援事業計画の策定の中で、保育所整備の方針を検討していきたい。